

# 全国路地サミット in 京都

© 2023 NPO ANEWAL Gallery

2023  
10.7 sat ▶ 9 mon

会場 | ひと・まち交流館 京都  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1他  
及び 市内各所

お問合せ先 [kyoto.rojisummit2023@gmail.com](mailto:kyoto.rojisummit2023@gmail.com)

主催 / 全国路地サミットin京都 実行委員会 共催 / 全国路地のまち連絡協議会  
後援 / 京都市都市計画局まち再生・創造推進室、(公財)京都市景観・まちづくりセンター  
協力 / NPO ANEWAL Gallery、現代美術製作所、スタジオカタリスト、(株)サンワコン、  
都市居住推進研究会、まいまい京都

## 全国路地サミットとは

全国における路地まちづくりの取組みに関する情報交換の場として、また連携していく仲間をはぐくむ交流の場として、2003年より全国各地で開催しています。

「全国路地サミットin京都」は18回目の全国路地サミットです。京都市で路地まちづくりに携わる有志による実行委員会が主催となり、次世代に向けた路地の再生やまちづくりの取り組みを京都から全国に発信します。

f Facebookで  
最新情報  
発信中!!



# 全国路地サミット in 京都

みんなで語る“路地の未来”～再生と次世代への継承～

10.7sat シンポジウム 13:00～17:45 参加費/無料

開会 13:00 (開場 12:30)

1. 基調講演“京都の路地とまちづくり” 13:05～14:00

第1部「魅力と課題」 高田 光雄氏 (京都美術工芸大学 副学長)

第2部「実態と整備手法」 森重 幸子氏 (京都美術工芸大学 教授)

2. クロストーク 14:00～16:30

第1部「新たな使い手たち × まちの視点」

[プレゼン] 扇沢 友樹氏 (不動産脚本家)、飯高克昌氏 (NPO ANEWAL Gallery)

[コメント] 井上 えり子氏 (京都女子大学)

第2部「路地再生の実践者 × プロの視点」

[プレゼン] 奥谷 繁礼氏 (奥谷繁礼建築研究所)、西村孝平氏 (八清)

[コメント] 吉原 勝己氏 (NPO 福岡ビルストック研究会)

交流会 16:45～17:45

懇親会 18:30～20:30

会費:6,000円(学生4,000円) 定員:40名  
『マルカフェ』京都市下京区西橋詰町762京栄中央ビル8F ひと・まち交流館から徒歩5分

路地まちあるき 各ツアー定員/10名 参加費/2,000円

- 10.7sat 9:30-11:30 ① 路地中の花街と工房 (上七軒界隈)  
[案内人] 冨家 裕久(冨家建築設計事務所)
- 9:30-12:00 ② 下京の路地巡りと奥谷繁礼建築研究所設計の町家・長屋  
[案内人] 奥谷繁礼建築研究所
- 10.8sun 10:00-12:00 ③ 路地再生の実例2か所深掘りツアー  
[案内人] 森重 幸子(京都美術工芸大学建築学部教授)
- 10:00-12:00 ④ 陶芸と坂のまち今熊野エリアの路地めぐり  
[案内人] 小原 亜紗子(Roomie)
- 10:00-12:00 ⑤ ドンツキクエスト in 西陣  
[案内人] 齋藤 佳(ドンツキ協会会長)
- 13:00-15:00 ⑥ 路地中のヨシツネ伝説(船岡山・紫野学区界隈)  
[案内人] 飯高 克昌(NPO ANEWAL Gallery)
- 10.9mon 10:00-12:00 ⑦ 西陣の路地“路地草めぐり”(翔鸞・柏野学区界隈)  
[案内人] 重本 晋平(まちくさ博士・NPO ANEWAL Gallery)
- 13:00-15:00 ⑧ 路地に聚楽第を探して(桃園・聚楽・正観学区界隈)  
[案内人] 仲 治寛(上京おもてなし大使)

申込締め切り 9月30日(土)

## 詳細・参加お申し込み

全国路地サミットin京都の参加申し込みはオンラインで受け付けています。右のQRコードより申し込みフォームにお入りください。

お問合せ先  
✉ kyoto.rojissummit2023@gmail.com

▼ 詳細はこちら



▼ お申し込み



登壇者



高田 光雄(たかだ みつお)  
京都美術工芸大学副学長。京都大学名誉教授。京都市景観・まちづくりセンター理事長。都市住宅学会、京都府・京都市建築審査会、京都府・京都市住宅審議会、京都市京町家保全継承審議会、都市居住推進研究会会長。日本建築学会賞、都市住宅学会賞、日本建築士会連合会賞等受賞多数。



森重 幸子(もりしげ さちこ)  
京都美術工芸大学建築学部教授。博士(工学)。一級建築士。設計事務所勤務を経て、京都大学研究員時代に路地の実態調査を開始。以降路地と町家に関する調査研究に継続的に取り組むとともに、町家・長屋の改修設計や、まちづくり活動の実践にも参画。



扇沢 友樹(おおきざわ ともき)  
不動産脚本家。1988京都生まれ。敷地や古い建物を読解し、脚本を書き、新たな存在意義を付加する人。「街や不動産はもって才能に貢献できる」を合言葉にビルや古民家のリノベーションをし、今までなかった場所やモノを発明する。



飯高 克昌(いいたか かづまさ)  
NPO ANEWAL Gallery 代表理事。  
”外に出るギャラリー”をコンセプトに通りにや路地、地下道、廃屋から重要文化財まで様々な都市空間において文化・芸術と地域・公共を繋ぐ活動を展開している。



井上 えり子(いのうえ えりこ)  
京都女子大学家政学部生活造形学科教授。博士(工学)。建築計画・住宅計画。2006年より六原学区において、まちづくりの視点から空き家対策に取り組み、2013年より洛西ニュータウンにおいて、「京都女子大学×UR 団地リノベーションプロジェクト」に取り組み。



奥谷 繁礼(うおやしげのり)  
奥谷繁礼建築研究所代表。京都工芸繊維大学特任教授。著書に『住宅リノベーション図集』(2016/オーム社)など。プロジェクトに『京都型住宅モデル』(2007)、『郭巨山会所』(2022)など。受賞にJIA新人賞(2020)、京都建築賞最優秀賞(2021)、関西建築家大賞(2022)、日本建築学会賞(2023)など。



西村 孝平(にしむら こうへい)  
株式会社八清 取締役会長。2000年以降、京町家を中心とした中古再生販売を主軸に事業展開しながら、都市居住推進研究会や京町家情報センターなど市民団体に参画し、京町家と町並み保全に関する提言等を行政に対して行う。趣味は月に100キロ走るジョギング。



吉原 勝己(よしはら かつゆき)  
NPO法人福岡ビルストック研究会理事長。老朽ビルで経営危機のビル業を継ぎ、2003年賃貸リノベーション事業を国内黎明期に開発。その過程、ひとつのつながりに着目し経年価値「ビータージビル」概念を確立。築65年冷泉荘を文化発信・地域交流の拠点とし福岡市都市景観賞。福岡路地市民研究会でも活動。

司会



大島 祥子(おおしま さちこ)  
都市居住推進研究会 事務局/スーク創生事務所 代表/京都光華女子大学キャリア形成学部 准教授。一級建築士・技術士(建設部門)・宅建士・博士(学術)。路地の単位面積当たりの情報量にやられっぱなし。まちの過去と未来を繋ぐ路地の可能性に惹かれています。

連携企画

西陣 路地座談会

主催/NPO ANEWAL Gallery、現代美術協作所  
https://nishizine.city.kyoto.lg.jp/event/nishijin-roji2310

10.9mon 16:00-18:00

会場/京都信用金庫西陣支店2階クリエイティブ commons NISHIJIN

